

京機会ニュース

No. 14 平成16年(2004年) 3月1日

京都大学機械系工学会

事務局：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻

TEL&FAX:075-753-5183、E-mail:keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp

<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/>



京都大学百周年時計台記念館



目 次

平成16年度京機会春季大会・総会のご案内	2頁	京都大学、学生フォーミュラ大会に参戦	8頁
平成16年京機会中部支部総会及び懇親会のご案内	3	京都大学機械系工学教室第二世紀記念事業会からのお知らせ	9
平成15年度秋季大会・総会のご報告	3	リカレント教育講演会	9
関西支部からのご報告とお知らせ	4	京機学生会「SMILE」からの報告	10
関東支部からのご報告	6	教官の異動	11
中部支部からのご報告とお知らせ	7	法人化を迎えて何が問題になっているか	
中国・四国支部からのご報告	7	— 教室の近況—	11
会計関連のご報告とお願い	8	会員のページ	12
平成15年発行名簿について	8		

平成16年度会費(年会費3000円)の納入をお願いします！
過年度会費の納入をお忘れの方もこの機会に納入いただきますように！
平成13～15年度分会費を完納されますと、平成15年発行の会員名簿を贈呈しております。
最近の納入状況は同封の個人データ(会費欄)に記載しております。

平成16年度京機会春季大会・総会のご案内

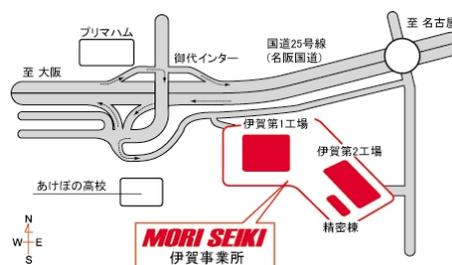
本大会を下記により開催いたしますので、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

日 時：平成16年4月10日(土) 13:30～

会 場：(株)森精機製作所 伊賀事業所

三重県阿山郡伊賀町御代201番地

(当日連絡先：Tel:0595-45-6061 担当：兼重)



集合場所：出欠回答と併せて必ずご回答下さい。

- ①森精機・奈良テクノフォーラム(近鉄奈良駅徒歩2分)集合時刻：12:10 バスで伊賀事業所へ移動。
- ②森精機・名古屋ビル(名古屋駅徒歩5分)集合時刻：12:10 バスで伊賀事業所へ移動。
- ③近鉄名張駅 集合時刻：12:30(なんば発11:30の特急で間に合います)
- ④直接、伊賀事業所へ集合。(上記地図をご確認下さい)

行 事：

春季大会・総会(13:30～17:30)

開会挨拶 13:30～13:35

総会 13:35～14:00

特別講演 14:00～14:50

「工作機械の現在と将来」 (株)森精機製作所 取締役社長 森 雅彦氏(S60)

技術講演 14:50～15:30

「DCG理論を用いた工作機械設計」(株)森精機製作所 常務取締役 平元 一之氏

見学会 15:45～17:30 (株)森精機製作所伊賀第1、第2工場

懇親会 17:30～19:00 (株)森精機製作所伊賀ゲストハウス

(会費：7000円、当日会場でお支払いください)

◎総会・春季大会のみご出席の場合は、見学会終了後に、「西、南へ帰られる方は、近鉄名張駅」「東、北へ帰られる方はJR柘植駅」までバスでお送りいたします。

◎懇親会迄ご出席の方は、「名古屋駅・奈良駅・名張駅」までお送りいたします。

◎ご回答は、3月20日(土)までに、同封のハガキでお寄せください。上記の集合場所(①～④)を必ず明記下さい。

◎京機会HP(<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/>)からも受け付けてできます。集合場所(①～④)は通信欄に明記下さい。ただし、二重受け登録防止のため、出欠回答はどちらか一方でお願いいたします。



平成15年度秋季大会・総会の風景

平成16年度京機会中部支部総会及び懇親会のご案内

平成16年中部支部総会及び懇親会を下記の要領で実施致したくご案内申し上げます。

▼日時：平成16年3月20日(土) 15:30～

▼場所：シャインズ (豊田織機社員クラブ)
〒448-0842 愛知県刈谷市東陽町2-18
TEL0566-24-3348

▼総会(15:30～18:00)

1. 支部長あいさつ
2. 来賓あいさつ
3. 平成16年支部運営報告など
4. 特別講演

- ①コンポン研究所における研究展開—エネルギー、環境、人間—：井上恵太氏(S36、コンポン研究所所長)
- ②ゴンドラの制振装置の発明から開発まで：松久 寛氏(S45、京都大学工学研究科教授)

▼懇親会(18:00～20:00)

会費：6000円

(但し、学部卒業が平成4年以降の卒業生は3000円、学生は1000円とします。)

尚、当日13:00よりリカレント教育講座(p.9参照)を開催しますので参加ご希望の方は合わせてお知らせください。

▼参加受付

出欠回答は、3月10日(水)までに、同封のハガキでお寄せください。

京機会HP(<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/>)からも受け付けできます。

または下記事務局まで連絡ください。なお、二重受け登録防止のため、出欠回答は1回で結構です。

以上の問い合わせ先

中部支部京機会事務局 大森 加奈子

〒606-8501 豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車(株)第2トヨタセンターZD内



平成15年度秋季大会・総会のご報告

平成15年11月14日に(株)神戸製鋼所殿のお世話により、平成15年度京機会秋季大会が神戸製鉄所総合事務所において開催された。出席113名。幹事会社から専務取締役機械カンパニープレジデントの小谷重遠氏(S44)の挨拶があり、引き続き、京機会総会に移った。

坂戸京機会会長より、京機会の活動・会計状況等についての報告が行われ、会費納入率の向上に今後とも努力が必要であるとの訴えかけがなされた。また、京機学生会が発足し京機会の若返り化に対し積極的な動きが出てきた旨紹介され、学生活動費が、上記会計の中にも計上されている旨報告され了承された。ついで京機学生会の中心メンバーが挨拶するとともに設立趣旨等の説明をおこない今後の支援が要請された。

講演に移り、昨年退官されて、現在、芝浦工業大学教授の鈴木健二郎氏(S37)の「分散電源と燃料電池：エネルギーフロー・ルネッサンス」と題する講演があり、まだ40～50年以上かかる将来の水素エネルギー実用化までのつなぎのエネルギー技術の開発の現状が紹介された。それにまつわる技術などについての質疑応答があった。

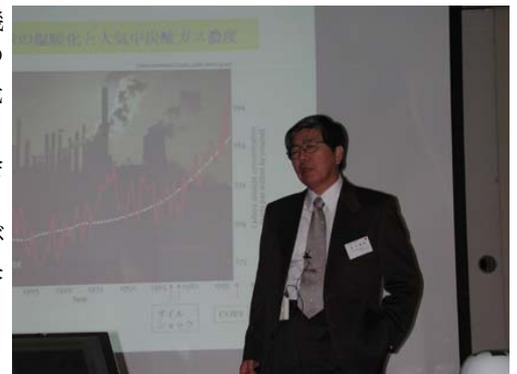
神鋼神戸発電所の紹介と挨拶が神戸製鋼所常務執

行役員鉄鋼部門IPP本部長の中園政明氏よりあり、川崎博也氏(加古川製鉄所設備部長、S53)の「神戸製鉄所発電所の建設」についての講演で、製鉄事業と必要電力の供給、地域社会との連携についての経験と評価が紹介された。

引き続き、3班に分かれて、第7線材圧延工場と上記講演の発電所を見学した。見学後、質疑応答があった。その後、シマブンビルの会場にバスで移動し、懇親会を行い、旧交を温め合うと同時に、各種情報の交換が盛況に行われた。最後に、来年度大会の幹事会社である(株)森精機

製作所社長の森雅彦氏(S60)(代理)が挨拶され会を終了した。(p.2 および p.13 写真参照)

(代表幹事 久保愛三)



鈴木健二郎氏講演風景

関西支部からのご報告とお知らせ

平成15年度下期活動報告(前号での報告以降分)

■ 異業種交流会の開催

第16回：10月31日(金)

シャープ(株)天理総合開発センター 参加人数：45名

見学：歴史・技術ホールの後、講演、懇親会

講演：

(1)電子写真プロセスにおける高解像度露光/現像特性

岩松 正氏 (S61)

(2)最近の光ディスク信号処理技術について

花野 雅昭氏 (H4)

(3)携帯通信端末技術の動向と当社の取りくみ

山本 裕彦氏 (H8)

(4)プラズマ成膜技術について 中濱 康司氏 (H7)

■ 産学懇話会の開催

第15回：11月22日(土) 参加人数：144名+学生多数

開催場所：京都大学・物理系校舎

講演：

(1)フェアレディZ復活の軌跡

日産自動車(株) 湯川 伸次郎氏 (S50)

(2)クラウンの車両企画と技術開発について

トヨタ自動車(株) 伊勢 清貴氏 (S53)

(3)産と学、文と理をつなぐもの

毎日新聞 元村 有希子氏

(4)京都大学機械系の21世紀COEプログラムについて

京都大学 土屋 和雄氏

■ サロン・ド・エクセレンス京機

第5回：9月19日(金) 参加人数：16名

開催場所：ガーデンシティクラブ大阪

講師：佐藤 国仁氏(S44)(有)佐藤R&D代表取締役

演題：技術者の自立

第6回：10月17日(金) 参加人数：28名

開催場所：ガーデンシティクラブ大阪

講師：方 蘇春氏 (S61) 聖泉大学人間学部 教授

演題：私から見た日中文化の相違

第7回：11月22日(金)

第15回産学懇話会共同企画

第8回：12月19日(金) 参加者14名

参加メンバーからコメントを頂き、懇親。名称を「MOT研究会(京機サロン)」に改称する提案があった。

(注)MOT: Management of Technology

■ 京機九日会

10月9日、大阪、中央電気倶楽部にて開催。

■ 京機・京都の会

12月6日、京都ウエスティン都ホテルにて開催。

平成16年度上期活動報告

■ 京機九日会

2月9日、大阪、中央電気倶楽部にて開催。

■ MOT研究会(京機サロン)

第9回：平成16年2月20日(金)～21日(土)

開催場所：ヤンマー(株)保養所宝塚セイレイ荘

20日講演：マグレブ開発から旅行業へ

講師：(株)日本旅行 常務取締役 平田 誠計氏(S43)

21日演習：身近な会社の財務諸表

講師：監査法人 トーマツエンタープライズ 脇田 一郎氏(S52)

平成16年度支部総会・平成16年度新年会の報告

平成16年1月16日新年会に先立ち、同日支部総会を開催。平成15年度の活動総括と役員改選を行い、平成16年度活動計画を審議、原案通り決定いたしました。新役員の御紹介と会計報告を致します。当番会社からの副支部長選出が新役員選出の要点です。平成15年度の新しい活動は、新設のサロン・ド・エクセレンス京機(MOT研究会(京機サロン)に改称)ならびに京機学生の会との連携の模索など、若手との交流拡大への注力と、異業種交流会、産学懇話会の案内をインターネットで行い、参加者の増加をはかったことでした。

■ 平成16年度 関西支部役員(敬称略、*：新任)

支部長 野田 忠吉 S33、住友精密工業(株)社友

副支部長 中谷 征司* S37、住友電工焼結合金(株)

戸谷 靖隆* S42、住友金属工業(株)

吉野 隆* S42、川崎重工業(株)

鴻野 雄一郎 S44、住友電工-ハードメタル(株)

各務 嘉郎* S45、松下電工(株)

塩路 昌宏* S50、京都大学

監事 小浜 弘幸 S32、小浜技術士事務所

事務局長 秋山 雅義* S47、

住友金属工業(株)当番会社

事務次長 西出 裕* S58、

住友電気工業(株)副当番会社

MOT研究会(京機サロン) 実行委員長

並木 宏徳 S44、京橋工業(株)

評議員(各幹事会社(14社))

成瀬 忠史* S47、大阪ガス(株)

長島 是* S51、三菱重工業(株)

久保田 修司 S62、西日本旅客鉄道(株)

野村 剛* S51、松下電器産業(株)

宮地 利和* S52、(株)神戸製鋼所

黒田 浩一 S55、住友金属工業(株)

寺尾 俊彦* S63、住友電気工業(株)

高須 順三* S49、川崎重工業(株)

谷垣 哲也 S56、(株)島津製作所

岡村 将光 S56、三菱電機(株)

島岡 清重 S55、三菱自動車工業(株)

北野 幸彦* S56、松下電工(株)

田丸 正毅 S50、(株)小松製作所

小島 敬良 S52、(株)クボタ

評議員(大学代表者)

産学懇話会 久保 愛三 S41、京都大学

異業種交流会 田畑 修* S54、京都大学

MOT研究会(京機サロン)

松久 寛 S45、京都大学

前支部長

坂戸 瑞根 S32

■ 平成15年度会計報告 (自H15. 1. 1、至H15. 12. 31)

収 入		支 出	
費 目	金額 (円)	費 目	金額 (円)
14年度からの繰越金	1,412,159	異業種交流会運営費	960,000
本部交付金	549,978	産学懇話会運営費	120,000
若手会員基金交付金	48,000	新年会費	1,251,479
新年会会費	1,165,000	会議費	119,027
14年度通信費仮払精算	2,480	その他経費	294,520
受取利息	7	予備費(来期への繰越)	1,728,898
合 計	3,609,924	合 計	3,609,924

■ 平成16年度新年会報告

日時：平成16年1月16日(金) 18:30～20:30

場所：ホテルグランヴィア大阪

当番会社：住友金属工業(株)

出席者：96名

恒例の京機会関西支部の新年会が開かれました。当番会社からの開会宣言、野田忠吉関西支部長からの挨拶、坂戸瑞根京機会会長の祝辞、大学の出席者を代表して久保愛三教授による近況報告の後、参加者中で最も先輩であられる昭和16年ご卒業の三瀬真作様の発声で乾杯で宴が始まりました。続いて、京機会中部支部・松本和男様からの祝辞が披露され、その後直ちに京都のお酒月桂冠の鏡開きが行われました。槌を振って頂いたのは、参加者中で最も先輩であられる昭和16年ご卒業の石坂琢次様、坂戸瑞根会長、久保愛三教授、京機会本部の事務を仕切って下さっていつもたいへんお世話になっております段智子様、野田忠吉支部長、当番会社を代表して戸谷靖隆様、以上6名の方々でした。宴たけなわに、福娘・段智子様による福引きを行い、1等賞1名から5等賞5名まで15名の方に、平成15年末に新装なった時計台下で求めました京大グッズをお渡ししました。その後、京都大学学歌を全員で斉唱した後、次期当番会社の住友電気工業(株)を代表して鴻野雄一郎様から、平成17年1月14日(金)に同じ場所での再会を期す御言葉を頂き、お開きとなりました。

産学懇話会のご案内

第16回会合

日時：平成16年3月6日(土)13:30～

場所：京都大学・物理系校舎216室

1. 題目：「人工現実感技術」13:40～15:00

講演：吉川 恒夫氏(京大・機械 S39)

2. 題目：「クルマ創り雑感」15:20～16:45

講演：原口 哲之理氏(トヨタ・先行車両企画 S51)

懇親会 17:00～

異業種交流会のご案内

第16回会合

日時：平成16年3月5日(金)

交流会 14:00～17:30

懇親会 17:45～19:15

会場：松下電工(株)生産技術研究所A会議室

品質評価技術センター見学

技術講演(生産技術研究所棟/A会議室)

1) ケナフ繊維ボードの開発について

奥平 有三氏(S53)

2) 自律移動ロボットの開発について

北野 幸彦氏(S56)

3) VR乗馬療法システムの開発

仲島 了治氏(S56)

懇親会(厚生会館3F特別食堂)

第10回MOT研究会(京機サロン)のご案内

日時：平成16年3月18日(木)

場所：ガーデンシティクラブ大阪

梅田ハービス大阪6階(TEL:06-6343-7770)

会費：学生以外は年次別で、3000円～6500円

講演：「プロ野球のしくみと今年の阪神タイガース」

講師：澤田 邦昭氏(S39、阪神電気鉄道(株))

かつて阪神タイガース球団代表を務めた講師が、日本プロ野球のしくみについて解説する。また、今年の阪神タイガースに対する期待等にも触れる。



平成16年度関西支部総会での風景



平成16年度関西支部新年会での風景

関東支部からのご報告

第4回支部総会・平成16年新年会の報告

平成16年1月31日(土)に、虎ノ門パストラルにて、会員約120名の参加のもとに、第4回関東支部総会・新年会が開催された。京都大学からは、垣野先生、久保先生を始め13名の先生方にご出席をいただいた。

総会ではまず、二宮支部長から、「国立大学の独立法人化に際して、大学は個々の創意工夫によって如何様にでも出来る時代に突入した。このような時代、京大を競争力のあるものにするため、大学、京機会が、ともにどのように取り組んでいくのか、しっかり考えていく必要がある」との身の引き締まるコメントをいただいた。

続いて、坂戸会長からは「京機会を時代に応じて変化、活性化させ、会員のネットワーク作り、自己研鑽などに役立たせる場としたい」旨のお話があり、野田関西支部長からは、関西支部の新体制、活動の紹介をいただいた。

次に、今年から関東支部でも進めていく予定の21世紀COEプログラムについての概要のお話を、拠点リーダーの航空宇宙工学専攻の土屋先生から話していただいた。

講演の1番目は垣野先生で、工作機械の現状と将来について、最新の多軸ヘッドの切削実演動画も交えた、わかりやすく、迫力ある講演をいただいた。

最後は富士フィルムマイクロデバイスの早川俊昭氏から、「人間の目に迫るセンサーを求めて...スーパーCCDハニカム開発ストーリー」と題する、CCDのイロ



ハと新方式の講演をしていただき、機械系卒業者にとっては、新鮮で興味深いお話であった。

その後、新年会に移り、吉村副支部長の挨拶に引き続き、最年長の村山智一氏(S28)の乾杯の音頭で歓談に入った。今年の新年会の特徴は、自主設立後間もない京機学生会の現役学生諸君5名が参加したことで、チームワークの良い動きで、若々しい姿を参加者に示してくれた。最後はこの学生会メンバーの三本締めで閉幕となった。

今年は、若年層の勧誘を方針として、ノーネクタイ、ラフスタイルでの参加を呼びかけたが、学生会メンバー以外の若年層の参加の伸びが期待ほどでなく、次期への課題となった。

平成15年度活動報告

京機会ニュース13号でも報告したが、恒例の異業種交流会を5月30日に、富士写真フイルム足柄工場で行った。43名のご参加をいただき、写ルンです循環再生工場の見学と講演、懇親会を行った。

平成16年度関東支部役員

(敬称略 *は新任役員)

支部長	二宮 敏	バブコック日立
副支部長	寺門 良二	太平工業
副支部長	吉村 允孝	京都大学
顧問	小澤 三敏	住友重機械工業
監事	熊澤 正博	日立製作所
事務局長	江上 秀男*	富士写真フイルム
事務局次長	藤山 一成*	東芝

評議員(各幹事会社代表者)

熊澤正博	日立製作所	杉谷敏夫	三菱重工業
浜田和孝	日産自動車	江上秀男	富士写真フイルム
藤山一成	東芝	岩本信彦	住友重機械
篠原喜代司	新日本製鐵	三澤 吉次	本田技研工業
山田茂樹	JFEスチール	今井 和雄	日本電信電話
宇都宮正時	石川島播磨重工業		

会計報告

収 入		支 出	
費 目	金額 (円)	費 目	金額 (円)
前年度繰越金	645,469		
15年新年会収入	1,190,000	総会・新年会費用	1,591,384
第二世紀より入金	70,000	本部事務費負担分	136,337
本部交付金	369,365	本部への業務委託費	70,000
若手会員基金	346,000	会議費	183,391
異業種交流会参加費	108,000	異業種交流懇親会費用	108,000
貯金利息	5	雑費	55,288
		次年度へ繰越	584,439
合計	2,728,839	合計	2,728,839

中部支部からのご報告とお知らせ

平成16年度中部支部総会および懇親会のおしらせ

3月20日(土)15時半より愛知県刈谷市の豊田織機(株)シャインズにて中部支部総会を開催いたします。(p.3の総会案内をご参照ください)

当日はコンポン研究所所長の井上憲太氏より「コンポン研究所の研究展開 - エネルギー、環境、人間 -」について、また、京都大学教授の松久寛氏より「ゴンドラの制振装置の発明から開発まで」についての特別講演を頂く予定です。

総会終了後、懇親会を開催いたします。みなさまの多数のご参加をお待ち申し上げます。

尚、当日は13時よりリカレント教育講座も開催されます。(p.9参照)

の鑄造設備技術について研究報告を頂き、また工場見学を行いました。各報告について会員からの質問が相次ぐなど活発な技術交流の場になったと思います。その後、懇親会を開催、学生時代のことや最近の技術動向などに話題が集まりました。



技術交流会

平成15年度中部支部技術交流会結果報告

昨年11月5日、新東工業(株)豊川製作所にて中部支部技術交流会を会員20名の参加をえて開催いたしました。当日は新東工業の技術者から最近のショットピーニング技術、ASR溶融リサイクル技術、最近

中国・四国支部からのご報告

2003年度下期以降の支部活動の報告

若手・ミドル会員と先輩会員との交流会(参加人数9名)

2003年10月10日に若手・ミドル会員と先輩会員との交流会を広島で初めて開催しました。和食のおいしい店の小さな部屋で、ぎゅうぎゅう詰めで行いましたが、個性豊かな会員同士の出会いがあり、大変楽しいものでした。

手島清美 元京都大学 坂口保彦 JR岡山支社
宇野義幸 岡山大学 三原 豊 香川大学
浅田博司 住友重機械エンジニアリングサービス
吉里 勉 JFEスチール 道中眞典 中国電力
花崎 襄 川崎造船 後藤 宏 宇部興産機械
薦田哲男 三井造船 田端茂夫* マツダ

■ 会計報告 (2003年12月31日現在)

収 入		支 出	
費 目	金額 (円)	費 目	金額 (円)
前期繰越金	44,864	案内印刷・発送料	39,970
本部より交付金	329,234	2003年度総会・懇親会費用	200,050
利息	2	運営会議費用	40,630
2003年度総会参加費	214,000		
運営会議費個人負担金	8,000	次期繰越金	315,450
合 計	596,100	合 計	596,100

2004年度 中国・四国支部総会

2004年2月20日、三菱重工業(株)(広島)において総会が開催されました。2004年度の役員、2003年度の会計報告は下記の通りです。

■ 2004年度 中国・四国支部役員

(敬称略 *は新任)

支部長 河田 耕一* 高知工科大学
副支部長 稲本 信秀 マツダ
副支部長 山本 謙* 宇部興産
副支部長 石川 浩 香川大学
副支部長 牧野 俊郎* 京都大学
監事 鷲尾 誠一 岡山大学
事務局長 新谷 誠* 三菱重工業
事務局次長 石崎 幸人* 四国電力

■ 評議員

(各幹事会社・大学代表者、敬称略 *は新任)

■ 異業種交流会の報告

2004年の総会では、地球に優しい環境づくりをテーマの下記報告があり、会員相互の意見交換を行いました。

- 1) 廃棄物加圧2段ガス化システムの紹介 宇部興産(株)
- 2) 新たな自動車リサイクルシステムの構築に向けて マツダ(株)
- 3) アルジェリア向けCO₂地中貯留プロジェクト 三菱重工業(株)

当日の様子は、次号に掲載いたします。

会計関連のご報告とお願い

会計状況について

平成15年度は、学生を含む若手会員の本会活動への参加促進を目的とした交流基金の支出、新たに発足した学生会への活動補助など、会の活性化への新しい試みを行っております。本稿作成時点では決算状況が確定いたしません。上記のような活発な活動の一方で、会計状況が前年度にも増して厳しくなる見込みです。当面は、繰越金を減らすことによって収支を保てますが、楽観できない状況といえます。

会費納入のお願い

平成16年度の会費3,000円の納入をお願い致します。同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本を支えている製造業を推し進めてゆく活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤しております。会計状況報告を見て頂いて分かりますように、京機会の運営は経済的に厳しい状況にある上、本年度分の会費納入率は約35%と大変低い水準です。製造業・機械産業が日本を支え、その中心が京都大学機械系であるための努力を継続してゆくため、是非、会費納入にご協力下さい。

寄付のお願い

ニューズレター前号で趣旨の説明とともに寄付のお願いを申し上げました。その結果、下記に記載いたしました方々からさっそくのご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成15年度ご寄付者(敬称略)

S17 藤澤 元、S23 柴田敬介、S25 三雲 暁
S25 松浦精一、S33 野田忠吉、S34 川口東白
S38 中川 哲、S39 長井俊彦、S39 垣野義昭
S40 奥田雄三、S43 植村賢介、S45 田中尚志
S62 許斐謙二、S26 卒業生一同

会費ならびに寄付ともに添付の振り込み用紙をご利用ください。会費納入の際には、振込用紙に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。本年度以前の会費が未納の場合には、是非、本年度分と併せて納入下さい。また、ご寄付をいただける場合には必ず所定欄に金額等をご記入いただきますようお願いいたします。
(会計幹事 石山拓二)

平成15年発行名簿について

会員諸氏の御協力のお蔭で平成15(2003)年11月に京機会名簿を発行し、平成13～15年の3年間の会費を納入頂きました会員の方々にお送りすることができました。なお、若干在庫がありますので御入用の方は、大会案内の返信はがきの「通信」欄にその旨ご記

入の上、未納分会費をご送金ください。入金次第、名簿をお送りいたします。

今後とも名簿の充実にご協力お願い申し上げます。
(名簿担当幹事 熊本博光)

京都大学チーム、学生フォーミュラ大会に参戦を決意！



KART(Kyoto Academic Racing Team)は、全日本学生フォーミュラ大会に参加することを目的として昨年12月に機械系の学部生、大学院生の有志メンバーで結成された団体です。京都大学機械系の教官の力強いバックアップのもと、今年8月の大会出場を目指して現在約20名の学生が活動しています。学生フォーミュラ大会は小型

フォーミュラカーを製作し、車両の性能およびチームの開発能力を競うというものです。初年度の参加なので模索しながらではありますが、現在メンバー一丸となってプロジェクトに励んでおります。どうか暖かいご支援をよろしくお願い致します。

KARTホームページ

http://www.geocities.jp/kyodai_kart/
代表 荻野洋平

ニュース広告の募集

◎京機会では、毎春秋発行の京機会ニュースへの広告を、募集いたします。

ニュースは卒業生、機械系関連教室の教職員および学生に配付いたします。

◎広告料は、右記の通りです。

◎お申込み・お問合せは、京機会事務局まで。

◎紙面の関係で、掲載サイズが限られる場合があります。

広告料金

A4判 1頁大	100,000円
A4判1/2頁大	60,000円
A4判1/3頁大	40,000円
A4判1/4頁大	30,000円
A4判1/6頁大	20,000円

京都大学機械系工学教室第二世紀記念事業会からのお知らせ

実行委員長 牧野俊郎

本事業会は、教室が開設100年を迎えて新しい世紀に一步を踏み出すにあたって、卒業生をはじめとする方々のご厚志を得て設立されたものです。京機会とは別の組織ですが、多くの共通のメンバーをもって、家族づきあいをしてきました。

本事業会では、今年度には、おもに、直接に教室の教育に掛かるあたりを事業のターゲットとしました：教室の学部学生・大学院生の“工場見学”旅行、京機会“異業種交流会”・“秋季大会講演会”などへの参加を支援してきました。これらは、学生の「工場見学」、「ものづくり演習」、「工場見学」、「インターンシップ」などの教育課程への支援事業です。また、京機会における“リカレント教育講演会”を主催・共催して、卒業生/社会人教育を支援しました。さらに、教室の教官・事務官・学生を対象とする“こころのケア講演会”を主催し、あるいは、教室での事故に掛かる“賠償責任保険”への加入を支援し、“情報ネットワーク”(HP)の整備・強化を支援して、教室の環境の基礎・インフラ整備に寄与してきました。

簡単ですが、以上ご報告申し上げます。

本事業会では、2000年に、教室の第二世紀を記念する「記念誌」と「ネクタイ」を製作し、醸金いただいた方に贈呈してきましたが、このたび、これらを販売することにいたしました。「記念誌」は3,000円、「ネクタイ」は2,000円(いずれも送料込み)です。購入希望の方は、郵便振替にてご送金下さい(通信欄に希望の品をご記入下さい)。お申し込み後、3週間以内に発送いたします。

【郵便振替先】 00950-1-89499

京都大学機械系工学教室第二世紀事業会



リカレント教育講演会

第7回講演会のお知らせ

下記要領にて講演会を開催いたします。

中部支部総会と併せまして、皆様、是非、ご参会の程よろしくお願ひ申し上げます。中部支部以外の方もご参加いただけます。お申込は京機会事務局迄。

日 時：平成16年3月20日(土) 13:00～15:15

場 所：シャインズ (豊田織機社員クラブ)
(会場はp.3の中部支部総会案内にて確認下さい)

講 演：

「小さな機械が創る大きな機会」

京都大学機械物理工学専攻 教授 田畑 修(S54)

注目を集めるマイクロマシンやMEMS(Micro Electro Mechanical Systems)について、何故マイクロか?何ができるのか?今後の技術動向は?について、1/25～1/29にオランダで開催されたMEMS国際会議からのホットな話題を含めて概説します。

第6回講演会のご報告

例年のように関東支部総会に合わせて、リカレント教育講演会を、平成16年1月31日(土)13:30～、虎ノ門パストラルにて開催しました。2講座で総勢55名と多数の皆様にご参加いただきました。

■ リカレント教育1：参加者16名

「数値流体力学(CFD)それとも実験流体力学

(EFD)?」

京都大学機械工学専攻 教授 小森 悟(S49)

■ リカレント教育2：参加者39名

「小さな機械が創る大きな機会」

京都大学機械工学専攻 教授 田畑 修(S54)



京機学生会「SMILE」からの報告

京機会を活性化するには、若者の積極的な関与、それも自主的な関与が不可欠です。そのため、京機会の一部門として機械系専攻在学生による京機学生会(通称SMILE)が2003年8月に発足いたしました。在学中から京機会活動を身近に触れることで人脈の大切さを実感し、同時に社会との接点を積極的に開拓できるような人材育成を目的とし、新たな産学連携による人材育成の場として位置づけております。我々京機学生会SMILEは以上のような理念に基づいて、約半年間各種活動を行ってきました。活動の主体となる運営委員は機械系専攻の修士一回生10名程度でしたが、半年間の活動を通して、志の高い修士、学部生10名ほどが加わり、現在20名ほどで活動しています。

今年度は設立の初年度ではありましたが、京機会の皆様方、諸先生方のご協力を賜りまして、基盤となる組織を築きあげ、様々な企画において期待以上の成果をあげることができました。これまでの主な企画としては、11月に行われた「先輩と学生の交流会」、12月に行われた「キャリアカウンセリング企画」、1月に行われた「工場見学企画」が挙げられます。以下に各企画からの報告を掲載いたします。

「先輩と学生の交流会」

昨年11月15日にOBの方をお呼びしての「先輩と学生の交流会」を行いました。活動主旨としては、京都大学機械系OBである企業の方を中心にお越し頂き、学生との交流を通じて、先輩として実社会や大学生活等について学生に助言をして頂くと同時に学生の質問にも答えて頂き、学生の現在および社会に出てからの将来像を考える場を提供することです。今回の交流会では、従来の交流会と異なり学生主体で行いました。従来の交流会と異なる点として、次の点が挙げられます。

- ・開催日を従来の4月から学生の就職活動意識の高い11月へと変更
- ・学生向けの講演会を開催
- ・参加学生の企業研究意欲を促進するため、事前に企業の方に企業紹介パンフレットの作成をお願いし、学生へ配布
- ・事前に学生に対して勉強会を開き、交流会の主旨を説明
- ・交流会終了後、学生・企業双方にアンケートを実施

このアンケートでは、多くのOBの方や学生からご意見を頂きました。これらを参考に次回の交流会ではさらによりよいものを目指して参ります。

「キャリアカウンセリング企画」

従来、個人のキャリアというものは企業が社員に求める人材像を提示し、社員はそれを目指し努力する「企業内人材育成」が主流であったと考えられます。

しかしながら近年の競争激化によって企業側に自社の意向に沿って育てる余裕がなくなり、各自が「プロ」である事が求められる時代に突入しました。企業任せで良かったキャリアデザインを、一人一人が意識して一企業内だけでなく一般的に見た「自分の市場価値」について考えなくてはならないと感じております。

しかしながら、学生が「自分が社会で何をしたいのか、どうなりたいのか」というキャリアデザインの端緒となるきっかけが不足しているのが現状です。そこで社会でご活躍されている京機会の先輩方のご経験や考え方に直に触れることで、自分の目標を形成し、またその目標に近づくためにはどんな能力を身に付け経験すべきかを判断し、自分が今どこまで実現できているか「考える場」を学生会が広く提供していくべきだと考えました。

就職活動のみを見据えた“点として”自分のキャリアを考えるのではなく、「将来どのように生きていくか」という“線として”捉える機会を広く学生に提供していきます。

以上の主旨に基づき、昨年12月23日、キャリアカウンセリング企画を催しました。先輩3名ならびにキャリアカウンセラーの方をお招きし、学生20名との間で活発な議論が行われました。

「工場見学企画」

我々は、以下の二種類の工場見学企画を通して、学生全体に社会との交流の場を提供していきたいと考えております。

- ①キャリアデザイン型：就職を控えたM1・B3の学生を対象とし、様々な業種の企業を訪問する。企業研究と同時に参加者が自身のキャリアについて深く考える場としたい。
- ②ものづくり体感型：全学年を対象とし、大企業・中小企業を問わず、面白い現場を訪問する。「ものづくりとは何か」を体感し、また大学で学んでいる知識が現場でどのように生かされるのか知る。

企画第1弾

この度、1月28日から30日にかけてキャリアデザイン型工場見学企画の第1弾として、名古屋・関東地方の6つの企業を訪問してまいりました。今回は第1回ということで、来年以降の企画運営のためのノウハウを養うというもう1つの目的を皆が持って企画に臨みました。今回は、参加は京機学生会メンバーのみとなりましたが、質疑応答の形式をこちらから指定し、若手OBにも参加して頂き様々な試みを行いました。

今回の見学の日程は以下の通りです。

- 1/28 午前 (株)トヨタ自動車、午後 (株)旭硝子
- 1/29 午前 (株)日本航空、午後 (株)日立製作所
夜 京機会懇親会
(東芝、日立、SONY、富士写真フィルム)
- 1/30 午前 (株)日本IBM、午後 (株)東芝

教官の異動

退官 垣野義昭教授：本年3月31日停年退官予定

山本 穰助手：本年3月31日停年退官予定

転出 谷村省吾講師：平成15年10月1日 大阪市立大学
機械物理系工学専攻、助教授に就任

就任 (平成16年1月末現在)

田畑 修教授：昭和54年名古屋工業大学計測工
学科卒業、昭和56年同大学院工学研究科修士
課程修了、同年(株)豊田中央研究所入社、平成5
年3月、名古屋工業大学博士(工学)の学位を取
得、平成8年立命館大学理工学部機械工学科助
教授、平成12年同教授、平成15年9月26日、本学教授、大
学院工学研究科機械工学専攻機械設計制御工学講座マ
イクロマシン工学分野担任。この間、平成12年10月～12
月ドイツフライブルグ大学客員教授、平成13年1月～3月
スイス連邦工科大学客員教授。専門はマイクロマシン、
MEMS、マイクロ・ナノシステムとこれらを構築するた
めのナノシステム統合工学。



木田重雄教授：1969年京都大学理学部物理学
科卒業、1971年同大学大学院理学研究科修士
課程終了、1974年同博士課程修了(理学博士取
得)。1975年京都大学数理解析研究所助手、
1987年同助教授、1995年核融合科学研究所教
授。この間、1982年英国ケンブリッジ大学、1983年仏国
ニース大学、1988年米国プリンストン大学にて研究。



2003年12月本学工学研究科機械工学専攻熱流体工学講
座伝熱工学分野教授。主な研究分野は流体力学、特に乱
流理論および流れの数値シミュレーション可視解析。

田中和人講師：平成6年京都大学機械工学科
卒業、平成8年修士課程修了、平成10年7月末
に博士後期課程を退学し、8月より本学機械
工学専攻機械材料設計学分野助手。平成16年
1月1日より加工プロセス工学分野講師。マイ
クロマシンやMEMSに用いられる薄膜材料や微小径繊維
などのマイクロマテリアルの特性評価法の開発と信頼
性向上に関する研究、マイクロコンポジットを用いた先
進複合材料の繊維/樹脂界面における破壊機構の解明と
耐環境特性向上策に関する研究に従事。



菅野公二助手：平成11年立命館大学理工学部
機械工学科卒業、同13年立命館大学大学院博
士前期課程物質理工学専攻修了、同15年立命
館大学大学院博士後期課程総合理工学専攻
修了、工学博士を取得、同15年10月1日より本
学助手。大学院工学研究科機械工学専攻機械設計制御講
座に所属し、ナノ・マイクロ微粒子をマイクロチップに
より創製・選別する技術、微粒子を三次元に並べること
による複雑な微細構造体を実現するアSEMBL技術、お
よびマイクロマシン製作への応用に関する研究に従事
している。



法人化を迎えて何が問題になっているか — 教室の近況—

機械物理工学専攻 専攻長 藤本 孝

昨年7月に国立大学法人法が国会を通過し、本年4月1
日を以って国立大学が法人化する。法律で決まってい
ることを簡条書きで述べる。

1. 学長：学長選考会議(基本的には半数は学外者)で
決定される
2. 理事：本学のような大きな大学は7名。学長の任
命。学外者が含まれていることが必要
3. 経営協議会：学外者が半数以上
4. 教育研究評議会：本学では「部局長会議」と呼ぶ

従来と違って、大学が自身のあり方、すなわち学生の
入学定員、授業料、教職員数など自由に決定できるのが
タタマエだが、どうもそうでもなさそう。平成16年度に
ついては予算内示の結果、人件費はわれわれが恐れていた
実員ではなく、予算定員で措置されたよう。ただし、
非常勤講師費用(京大全体では1.5億円)はゼロ査定され
た。予算が毎年1%づつ削減される、という新聞報道もあ
る。

工学研究科では法人化後の組織、管理、運営について
議論中である。現在、毎月開催の教授会は年2回程度開催
として、代議員会が日常的な立法的な事項(教官選考を
含め)の審議、学位審査を取り扱い、行政的な業務は専攻
長会議で行う、という案が有力である。従来は省令によ
って研究科・学部、学科、講座まで指定されていたが、
それがすべて消滅し、それらは大学の裁量に任されるこ
とになっている。教官については従来の定員というもの
自体がなくなったわけである。今のところはっきりとは

姿をあらわしていないが、近い将来、教授が定年退官す
るとそのポジションは工学研究科に返され、人事企画委
員会かなにかで審議の上、教室に帰ってくる(こないか
もしれない)、といったシステムになると予想される。

従来は教育公務員特例法、人事院規則でコントロール
されていたすべての事項、すなわち、教官の地位、労働
条件、安全、衛生、などが民間と同じ扱いとなる。全学
段階では「経営者」と「労働者」が労働協約を締結する
必要がある。この「労働者」側は「労働者」の半数以上
を代表する必要があるが、「学生」も労働者に入る、と
いうウソのような話もある。安全関連では「労働安全衛
生法」によって規制されることになるが、たとえば放射
線取り扱い主任者などの資格保持者が何人以上、実験室
の床、壁が防火仕様であること、などなどさまざまな規
制が飛び込んできて、対応を迫られている。私学は従来
からやってきたんだから、我々も何とかなる、という期
待に対しては、私学は「国立に甘くて、私学にだけ厳し
いのはおかしい」と国立をタテに使っていた、という
ジョークのような話もある。

従来、どこかでコピーして使っていた、いわゆる「違法
ソフト」についても、訴訟を起こされて敗訴すると、京都
大学法人が莫大な賠償金を払う必要がでてくる。それ
についても、対応を迫られている。その危険の大きなア
ドビ社とマイクロソフト社の製品について生協を通じて
のライセンス販売が始まろうとしている。

会員のページ

塑性工学研究室出身の皆様へ

旧友との再交友を目的として1年に3回ほど日曜日正午から大阪梅田で昼食例会を開催しています。会員制です。入会ご希望の方は下記の幹事または連絡係まで申し込み下さい。また臨時参加も歓迎します。

幹事：真崎才次(元教官)

連絡係：都築秀浩(S39) 奥津尚宏(S40)

加藤昭悟(S41)

第16回機河会(河本研究室同窓会)開催のご案内

下記要領にて開催しますので、ご参集ください。

日時：平成16年8月28日(土)

12時30分～受付開始、13時～16時頃立食パーティー

場所：京大会館 SR室

京都市左京区吉田河原町15-9

TEL：075-751-8311

幹事：笹田 滋 (S48)

第15回機河会(河本研究室同窓会)報告

－盛会裡に終わる－

河本先生を囲む機河会総会は、このたび15回を迎え、平成15年8月23日(土)京大会館で開催された。参加者は、先生ご夫妻を含め26名で、前回は上回る盛況であった。91歳になられたとはいえ、きりりと背筋の伸びた先生のお姿は、出席者にとって何よりの励ましであった。

スピーチは前回での約束でされなかったが、幹事がお願いして、坐ったまま乾杯の音頭を取っていただき、会がスタートした。酒もまわり腹もくちたあと、アイウエオ順に各自の近況報告をゆっくりと行い、歓談や活動の評価、それぞれの話題に旧交を温めた。最後に、現在機械教室で材料力学講座を担当されている北條先生(S54)から桂キャンパスへの移転をはじめ、最近の大学の状況を報告して頂いた。

歓談の宴は予定の時間をオーバーして続き、去りがたい心を来年の再会の誓いに込めて、17時ごろ散会した。なお、次回幹事は、笹田氏をはじめとする昭和48年・49年卒の方々をお願いする事となった。

(龍野・濱野(S40)記、p. 14の写真参照)

京機22年会平成15年度総会報告

開催日：京都新阪急ホテル

参加者：19名、夫人3名 計22名

毎年、春秋大阪にての京機22年会、2年に1度の全国総会を実施していますが、一昨年に開いた同じホテルで開きました。この2年間に逝去した4名の学友を偲び、思い出の話が続きました。

東京、名古屋からの参加を得て、各人の近況報告があり、健康状況、海外旅行、趣味等バライチャーに富んだ話題が交わされました。

また、22年会の今後の運営についても熱心に討議され、目下編集中の22年会誌『余滴』6号の発行を含め従来どりの運営をすることが決定されました。

幹事：窪田、三谷、秋山、若林、河野、岸本

(p. 14の写真参照)

京機23年会平成15年度同窓会報告

開催日：平成15年11月11日(火)12時～14時45分

会場：京都センチュリーホテル(弥生の間)

参加者：江本、遠藤、岡崎、尾谷、京谷、口野、高橋、竹内、田中、津垣、中塚、西岡、藤井、松井、岐美、山田(以上16人)

今年は円道、織田、吉村の3人の方が亡くなりました。また体調不良を告げられる方が年々増えて行く中で、出席者の顔ぶれも固定されてきた観がある。当日もフランス料理を味わいながら近況報告があったが、健康と病気に関連した話題に花が咲くのは高齢者の集まりなので当然だが、今回は特にボケない為の提案があった。1つは外出時は服装に気を配る事、特別お洒落は必要無いが身なりに気を使わないのはボケの始まりだと言われて思い当たる人もあったようだ。もう1つは“いろは四十七文字を使って文章を作れ”で、参考ということで発言者から発表されたが、艶っぽさが若干感じられる名文であり、皆も頭の体操の為にこれから挑戦するかもしれない。

年に1回僅か3時間足らずの談論ではあるが、顔を合せられる幸福を何時までも味わえる事を念願し来年の再会を約して閉会した。

次回は平成16年11月11日(火)同じ場所で実施の予定。来年は20人を越えればと期待しています。

(世話役：岐美、西岡、文責：西岡、p. 14の写真参照)

五十年会(S25年)2003年秋季大会例会報告

日時：平成15年10月27日(月)

場所：(社)大阪倶楽部

出席者：13名

昭和25年(1950年)40人卒業、現在29人の内13名の出席。花外楼の料理を味わいながら、田中君より欠席の方々の近況報告がありました。入院中の方、自宅で療養中の方々がおられ心配です。

次いで出席者の方々より近況報告並びに最近の世相に対する思いが色々に述べられ、活発な意見の交換がありました。地域の福祉活動に、産廃問題に、老人クラブの世話役にと多少の病を押して活躍されておられる話がありました。

次回は平成16年5月10日、大阪倶楽部で開催予定です。

(山中記、p. 14の写真参照)

悟美会(昭和28年卒業、新制第1回) 卒業50周年記念総会報告

平成15年11月19日(水)に卒業50周年を記念して、懐かしの母校のある京都で総会を行った。出席者は25名という盛況であった。50年という節目の年なので、記念行事として、総会に先立ち、午後1時半より母校京大機械系工学教室の見学会を実施した。京機会代表幹事の久保先生のご挨拶(教室の現状と学舎および組織の変遷など)の後、①松久研究室(振動制御システム)②垣野研究室(精密計測加工論-説明：松原助教授)③牧野研究室(熱流体物性学)および④CAD室を見学した。新しい多様化の時代における教育と研究の難しさについて説明いただき、時代の移り変りに多大の感銘を受け、大変有意義であった。関係の先生方および京機会事務局の段智子さんに大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

午後4時30分より、京都駅構内のホテルグランビア3階栄華の間で総会を行った。この50年間の思い出

ど、終始なごやかに歓談した。午後7時過ぎに2年後の再会を期して散会した。

(中川(隆)記、p.14の写真参照)

昭和30年卒第6回同窓会報告

学部卒業後、既に48年を経過し、大学院のみの在籍者3名を含め総勢36名の中、6名を失い、卒業年次と同数の30名となりましたが、70才を超えた昔日の若人13名が平成15年8月26日に志賀高原の京大ヒュッテに集い、旧交を暖めました。一泊の同窓会であったため、夕食後の懇談にも花が咲き、忌憚のない意見交換が出来たと好評でした。翌日の周辺の散策を含め、スキー部OBの鎌倉正司幹事の御盡力により、思い出に残る楽しい二日間が過ごせたことを喜んでいます。又、今回初めて、同窓会に御夫人(荒木克治氏)が同席されたことも特筆しておきます。

次回同窓会は平成17年に予定しています。

(桂田史郎記、p.14の写真参照)



平成15年度秋季大会・総会の風景



第15回機河会(河本研究室同窓会)



五十年会(S25年)2003年秋季大会例会



京機22年会平成15年度総会



悟美会50周年記念 2003年11月19日 於 ホテルグランヴィア京都

悟美会 卒業50周年記念総会



京機23年会平成15年度同窓会



昭和30年卒第6回同窓会報告

編集担当(木村健二、蓮尾昌裕、田中和人、小森雅晴、伊藤靖仁、平方寛之、段智子)

投稿記事量についてのお願い

最近、皆様からの同窓会案内・報告のご投稿が増えてまいりました。有り難い限りですが、会員のページ掲載紙面に限りがありますので、記事原稿は、字数300字以内でお願いさせていただきます。写真は、画像ファイルも可能です。写真は、編集後返却いたします。なお、次号(No. 15)の原稿締め切りは7月末日です。